

# GRAN NEXT テクノロジー

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2022年1月20日～2023年1月19日

第 2 期 決算日：2023年1月19日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第 2 期末 (2023年1月19日)

基準価額	7,974円
純資産総額	13,751百万円
騰落率	-21.5%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に  
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJ国際投信東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

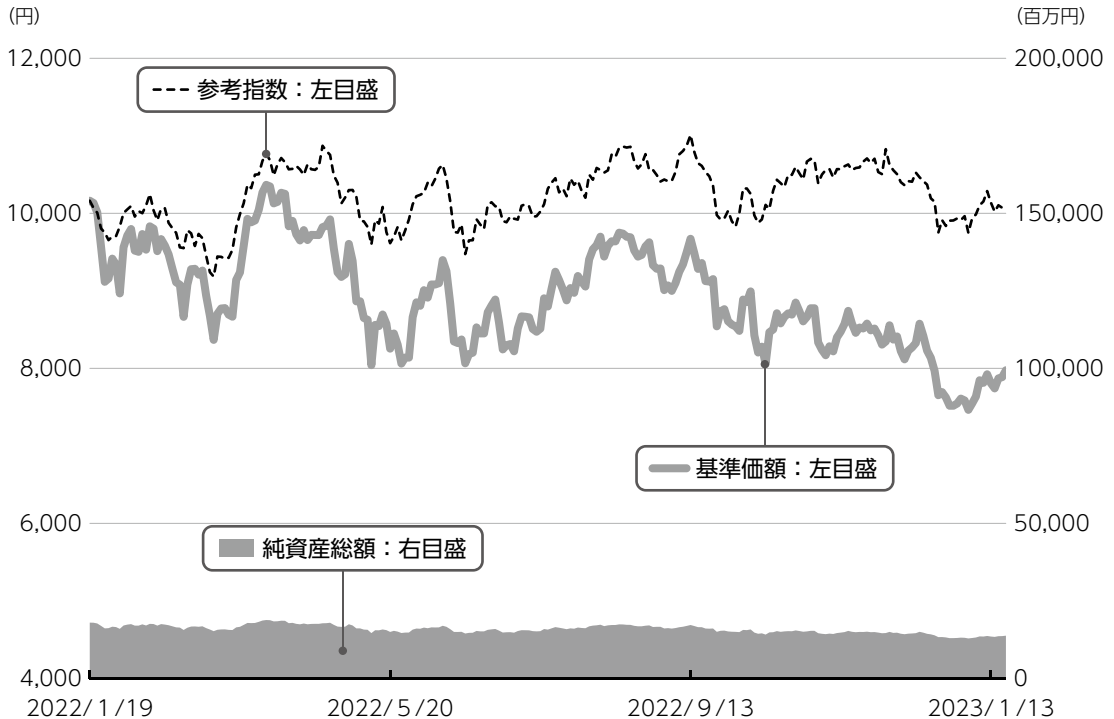
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	10,161円
第2期末	7,974円
既払分配金	0円
騰落率	-21.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ21.5%の下落となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

米ドルやユーロなどの通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

保有銘柄（TESLA INC、MARVELL TECHNOLOGY INCなど）が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年1月20日～2023年1月19日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	101	1.133	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(24)	(0.275)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(73)	(0.825)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	101	1.136	

期中の平均基準価額は、8,893円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

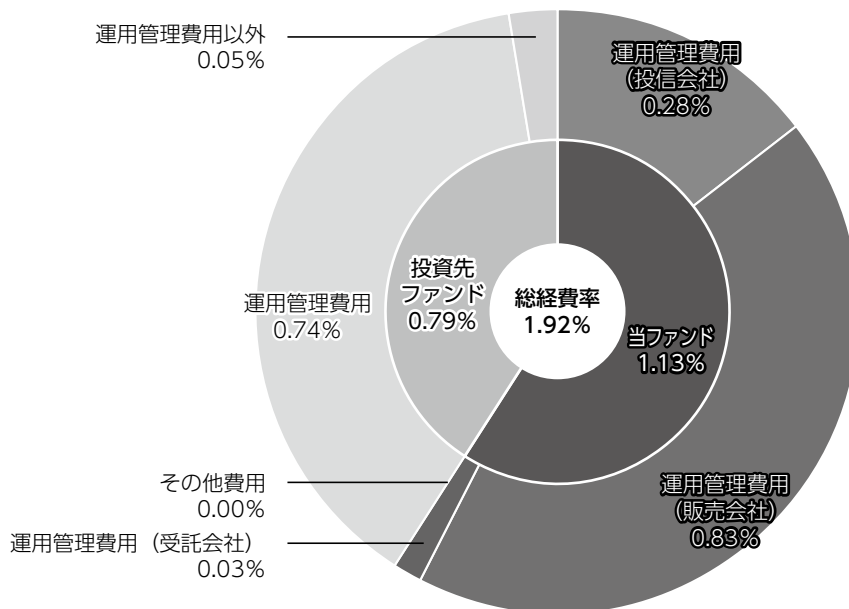
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.92
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.13
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.05

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年1月19日～2023年1月19日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

					2022/1/19 期初	2023/1/19 決算日
基準価額	(円)	-	-	-	10,161	7,974
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	-	0
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-	-21.5
参考指数騰落率	(%)	-	-	-	-	-1.4
純資産総額	(百万円)	-	-	-	17,962	13,751

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス (配当込み、円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

## ▶ 投資環境について

### ▶ グローバル株式市況

#### **グローバル株式市況は下落しました。**

期間の初めから2022年9月にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を受けた資源価格の上昇などを受けて、高い水準でのインフレ長期化が懸念されたことや、各国の金融引き締めに対する懸念が高まったこと、都市封鎖に起因する中国景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

その後は、堅調な企業決算が発表されたことや、2022年10月の米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を下回ったことなどを受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇しました。

### ▶ 情報技術セクター株式市況

#### **情報技術セクターは下落しました。**

期間の初めから2022年9月にかけては、ウクライナ情勢の悪化や、インフレ長期化に伴う各国中央銀行による金融引き締めに対する懸念が高まったことなどから、金利感応度の高い情報技術セクターはグローバル株式市況と比較して大きく下落しました。

その後は、米国の景気後退懸念などを背景にFRBによる利上げペースの鈍化期待が醸成され、米金利は長期金利を中心に低下したことなどから上昇しました。

### ▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルやユーロは対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

#### **無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.010%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ GRAN NEXT テクノロジー

外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス12・円建て）への投資を行いました。また、マネー・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンド・クラス12・円建て

主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のテクノロジー関連企業の株式等に投資を行いました。株式等（DR（預託証券）を含みます。）への投資にあたっては、ボトムアップの調査・分析に加えて、ESGに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（ESG項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行いました。

### ▶ マネー・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

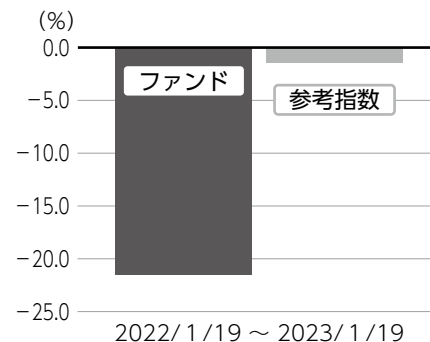


## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2022年1月20日～2023年1月19日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	-

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ GRAN NEXT テクノロジー

外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス12・円建て）を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

### ▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンド・クラス12・円建て

引き続き、主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等に投資を行います。

株式等への投資にあたっては、ボトムアップの調査・分析に加えて、ESGに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（ESG項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行います。

株式市場は、金利上昇やインフレの高止まり、景気減速、地政学リスクなどが懸念され、特に成長性のあるテクノロジー関連企業にとっては上値が重い展開が続くと考えていますが、長期的にはテクノロジー関連企業の成長トレンドは今後も続くと見ています。引き続き、テクノロジー関連企業を投資対象とし、ESG評価を行い、中長期的に成長の見込める企業に投資を行う方針です。

### ▶ マネー・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

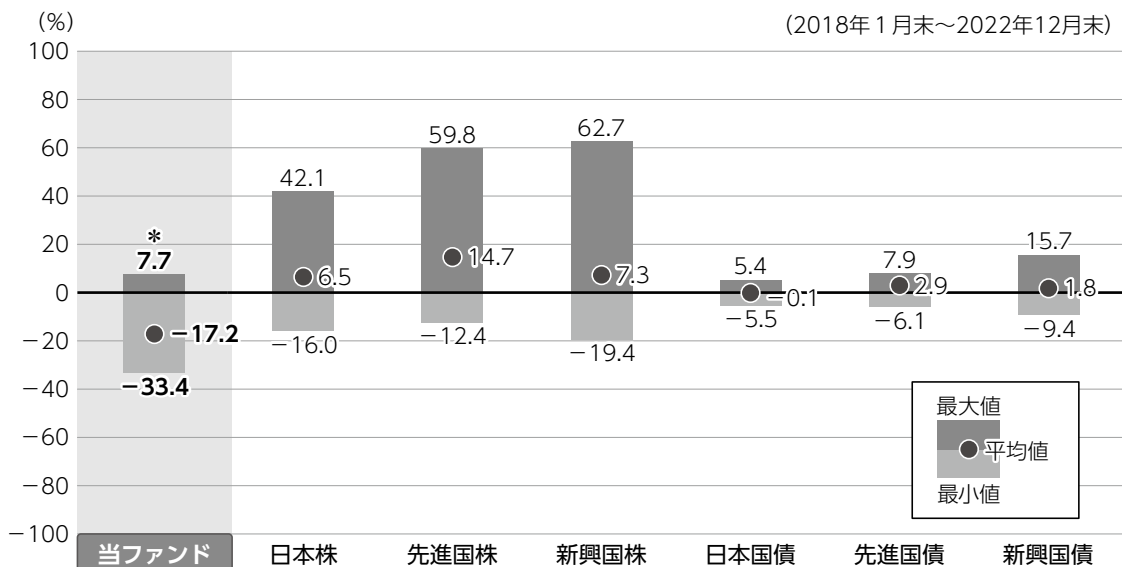
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2031年1月17日まで（2021年1月19日設定）
運用方針	<p>外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスI 2・円建て）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>外国投資法人の投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p><b>■当ファンド</b> ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンドークラスI 2・円建ておよびマネー・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p><b>■ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンドークラスI 2・円建て</b> 日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p> <p><b>■マネー・マザーファンド</b> わが国の公社債等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年1月から2022年12月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2022年1月～2022年12月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年1月19日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第2期末 2023年1月19日
ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンド・クラスI 2・円建て	98.3%
マネー・マザーファンド	0.0%

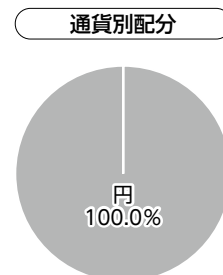
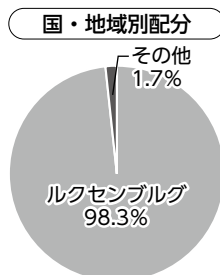
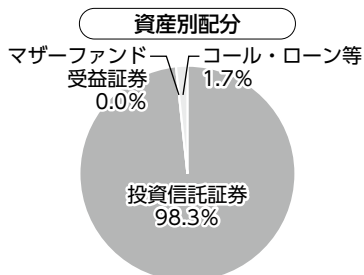
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第2期末 2023年1月19日
純資産総額 (円)	13,751,735,526
受益権口数 (口)	17,244,737,871
1万口当たり基準価額 (円)	7,974

※当期中において追加設定元本は2,966,010,738円  
同解約元本は 3,399,071,156円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

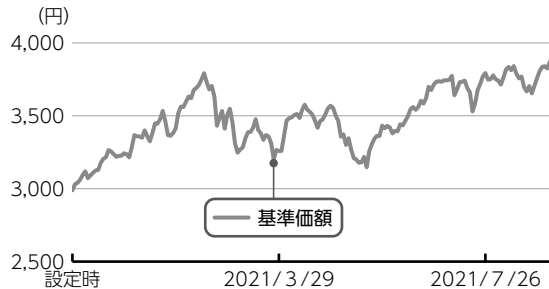
2021年8月31日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンドークラスI 2・円建て

#### 基準価額の推移

2020年12月2日～2021年8月31日



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンド」ベースで表示しています。

#### 1万口当たりの費用明細

2020年12月2日～2021年8月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

### ▶ ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンド

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：120銘柄)

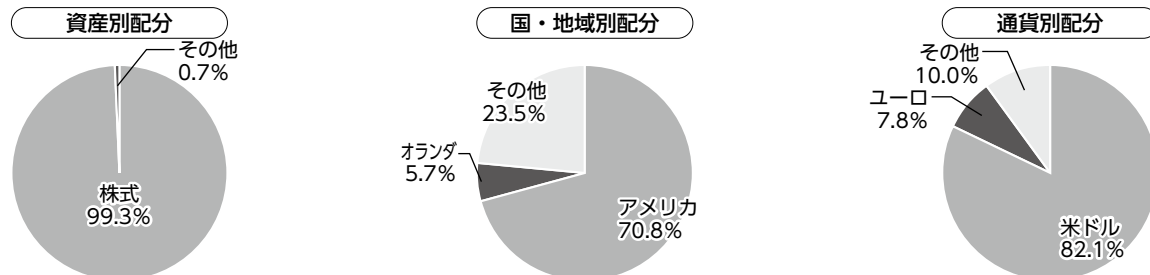
	銘柄	国・地域	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	ハードウェア	4.4
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.2
3	ALPHABET INC CLASS A	アメリカ	インターネット	2.9
4	KAKAO CORP	韓国	インターネット	2.6
5	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体	2.5
6	MARVELL TECHNOLOGY INC	アメリカ	半導体	2.3
7	TESLA INC	アメリカ	ハードウェア	2.2
8	AMAZON COM INC	アメリカ	インターネット	2.1
9	LAM RESEARCH CORP	アメリカ	半導体	1.9
10	PAYPAL HOLDINGS INC	アメリカ	サービス	1.9

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。

※業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 種別構成等



※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。

※組入上位10銘柄、種別構成等のデータはブラックロック・ジャパン（ブラックロックという場合があります）提供の資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。



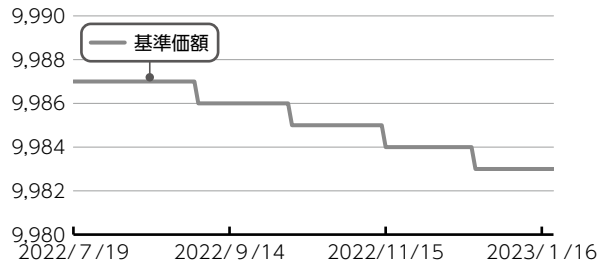
292005

2023年1月19日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ マネー・マザーファンド

## 基準価額の推移

2022年7月19日～2023年1月19日  
(円)

## 1万口当たりの費用明細

2022年7月20日～2023年1月19日  
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

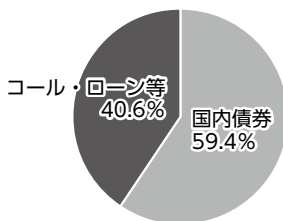
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	第1125回国庫短期証券	債券	日本	国債	59.4
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

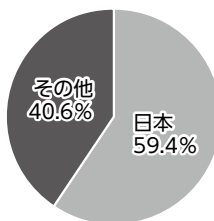
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 種別構成等

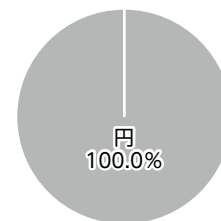
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『MSCI オールカントリー・ワールド インデックス (配当込み、円ベース)』について

MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信